

事務事業名		社会就労センター管理事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	健康福祉部
総合計画体系	基本政策	2	支えあい健やかに暮らせる健康長寿のまちづくり	課・室	中野社会就労センター・豊田社会就労センター
	政策	03	地域が支えあう福祉体制の確立	係	
	施策	01	自立した生活の支援	内線電話	8013~8016
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	3款	民生費	未計上	
	項	1項	社会福祉費	実施期間	
	目	6目	社会就労センター費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	一般就労が困難な者	意図（どのような状態にしたいのか）	安全に安心して就労継続していただく。
現状・課題	要保護者や様々な障がいをお持ちの方が利用しているため、一人一人が利用者しやすい施設管理を行っていく必要がある。			
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	生活保護法、障害者総合支援法、中野市社会就労センター条例		
事務事業概要	一般就労が困難な障がい者及び要保護者に就労の場を提供するため、施設の安全管理を行う。			
令和2年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量	
	消防設備保守点検		中野・豊田 年2回	
	自動ドア保守点検		中野 年2回	
	地下タンク漏洩検査		中野 年1回	

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	34,067,000	34,956,000
補正・流用等		円			—	
合計		円	34,067,000	34,956,000	3,820,000	
決算（見込）額 A			円	32,589,123	34,956,000	—
財源内訳	国庫支出金		円	4,054,604	4,328,000	
	県支出金		円			
	市債		円			
	その他特定財源		円	27,380,812	28,393,000	16,000
R2は予算額	一般財源		円	1,153,707	2,235,000	3,804,000
正規職員数			人	1.15	1.05	1.05
人件費 B			円	7,399,100	6,764,100	6,764,100
総事業費 A+B			円	39,988,223	41,720,100	10,584,100
市民1人当たりコスト			円	935	981	250

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
安定的な就労の場を提供した人数 (月平均)		維持	目標	62	人	62	人	62	人
			成果	59	人	62	人	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値を設定した理由	一般就労が困難な者に就労の場を提供することにより、知識及び能力の向上につながり、自立支援が図られるため。								

令和2年度の 実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	関係機関と連携を図りながら、一般就労が困難な方で、就労を希望している方には、引き続きニーズに合わせた就労の場を提供していきたい。						

